

PRESS RELEASE

報道関係各位



2025.1.9

株式会社エフエム大阪

FM 大阪 阪神淡路大震災から 30 年

リスナーとともに考える防災ワンデー企画 「だからいま、できること」

2025 年 1 月 17 日（金）放送決定！

1995 年 1 月 17 日 午前 5 時 46 分に発生した「阪神淡路大震災」から、今年で 30 年が経ちます。その後に生まれた若い世代も増える中、都市部特有の住民の入れ替わりもあり、最大震度 7 を観測し、6434 人の命が失われたこの震災を直接知らない人も多くなってきました。その後、2018 年 6 月には、震度 6 弱の「大阪北部地震」が発生し、さらに現在では「南海トラフ巨大地震」の想像を絶するような被害が想定されています。

阪神淡路大震災から 30 年が経ち、その後、大都市での巨大地震はまだ発生していませんが、今だからこそ、大切な人の命を守るために出来ることがあると考えます。そこで、今年 2025 年 1 月 17 日の FM 大阪では、**防災について考えるワンデー企画「だからいま、できること」**を展開します。災害報道や被災地取材を数多く経験し、TOKYO FM でも番組を担当していたこともある、防災士アナウンサー・古賀涼子さんを朝から各ワイド番組内にお迎えし、大阪で暮らす私たちが今どのように備えればよいのかを、番組ごとのテーマに沿って、リスナーと一緒に考えていきます。

リスナーの皆さんが感じる「防災・減災」に関する疑問・質問を各番組にメッセージとしてお送りいただきながら、1 月 17 日の放送を是非、お聴きください。

【企画概要】

タイトル：FM 大阪 阪神淡路大震災 30 年 防災ワンデー企画 「だからいま、できること」

放送日時：2025 年 1 月 17 日（金）6:00～19:00 ※各ワイド番組内で約 5 分～10 分のコーナー展開

出演：各ワイド番組 DJ、古賀涼子（防災士アナウンサー、元 TOKYO FM）

【古賀涼子プロフィール】

アナウンサー／ナレーター／防災士／絵本専門士

2001 年、TOKYO FM にアナウンサーとして入社。2020 年に独立。

様々なジャンルの番組に出演するとともに、災害報道や被災地取材を数多く経験し、

防災キャスターとして活動。東日本大震災の発生時には長時間に渡り

JFN 報道特別番組に出演。

災害伝承や防災を描いた絵本を専門に研究し、防災教育活動を行なう「防災絵本専門士」でもある。



PRESS RELEASE



【企画詳細】

■「hug+」 1月17日（金）6:00-11:00 DJ：大塚由美

・・・テーマ「だからいま、こどものためにできること」

- ・30年前の阪神淡路大震災の被害を振り返りつつ、南海トラフ巨大地震での大阪・関西エリアの被害想定を解説します。
- ・子どもがいる家庭では、実際にどのような問題が発生してきたかの事例を踏まえ、それに対してどう備えれば良いのかを考えていきます。



■「なん MEGA!」 1月17日（金）12:00-15:00 DJ：前田彩名

・・・テーマ「だからいま、火災に備えてできること」

- ・阪神淡路大震災で深刻な被害をもたらした、南海トラフ巨大地震などの都市型大地震でも大きな課題となるのが「火災」。
- どのようなことが想定され、どのように備えるべきか、どこに逃げれば良いのかなど、火災への対処法を考えていきます。



■「SMASH(ING) FRIDAY」 1月17日（金）15:00-17:00 DJ：桜井雅斗

・・・テーマ「だからいま、避難のためにできること」

- ・大きな災害が発生した時に課題となるのが、避難所での生活です。
- そもそも避難所に行くべきなのか、避難所ではどのような問題が起きるのか、また、少しでもリスクを回避し快適に過ごすためにどのような準備をすべきかを考えていきます。

・・・追加企画「COMING KOBE 2025」

- ・SMASH(ING) FRIDAY ではさらに、阪神淡路大震災からの復興のために立ち上げられたチャリティー音楽イベント「COMING KOBE」をピックアップ。実行委員会の風次さんと上田佑吏さんをゲストにお迎えします。
- 今年で20周年になるこのイベントの意義や、阪神淡路大震災を知らない世代へのメッセージなどを桜井雅斗がインタビューします。



PRESS RELEASE



■「キン☆ボシ Happy Hour」 1月17日（金）17:00-18:55 DJ：しもぐち☆雅充

…テーマ「だからいま、帰宅困難に備えてできること」

・大都市での災害で大きな問題となるのが、勤務中に災害が起こった場合の、帰宅困難者。

この番組の放送時間が帰宅ラッシュタイムと重なる中、もし、いま大阪都心部が大地震に襲われたらまずどうすれば良いのか、帰宅すべきか、徒歩での帰宅を決めた際にはどのような問題が発生するのか、それらを踏まえて普段からバッグの中に何を入れて持ち歩いておくべきか…

番組レポーターが帰宅困難者になった想定で、大阪・難波のFM大阪本社から避難場所へ、普段の服装や持ち物だけで実際に徒歩で移動を試みます。生の声を届けながら、帰宅困難者となった時に本当に必要な持ち物や心構えを考えていきます。



以上

このリリースに関する報道関係者様のお問い合わせは下記まで

FM大阪 編成デザイン部 TEL: 06-4396-0853